

官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)「量子技術領域」

令和2年度第2回運営委員会(1月5日)

1. 日時: 令和3年1月5日 13:30~15:10

2. 形式: WEB 会議システム

3. 出席者: (敬称略)

(座長)

荒川泰彦 領域統括

(運営委員)

寒川哲臣 日本電信電話株式会社先端技術総合研究所所長

平野琢也 学習院大学理学部物理学科教授

(事務局領域担当)

増田幸一郎 内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策企画調査官

4. 議事

(1) PRISM 量子技術領域について

(2) 対象施策ヒアリング

(2-1) 量子 AI 技術開発に係る開発環境の整備と検証装置の整備

(2-2) 量子生命技術開発に係る実規模実験環境の整備

5. 配付資料(全て運営委員会限り)

資料 1 PRISM 量子技術領域について

資料 2-1 量子 AI 技術開発に係る開発環境の整備と検証装置の整備

資料 2-1-2 量子 AI 技術開発に係る開発環境の整備と検証装置の整備(別添)

資料 2-2-1 量子生命技術開発に係る実規模実験環境の整備 1

資料 2-2-2 量子生命技術開発に係る実規模実験環境の整備 2

6. 議事要旨

(1) PRISM 量子技術領域について

資料 1 に基づいて、事務局より、PRISM 量子技術領域について説明がなされた。

(2) 対象施策ヒアリング

(2-1) 量子 AI 技術開発に係る開発環境の整備と検証装置の整備

資料 2-1 と資料 2-1-2 に基づいて、対象施策実施者より、量子 AI 技術開発に係る開発環境の整備と検証装置の整備について説明がなされた。

(2-2) 量子生命技術開発に係る実規模実験環境の整備

資料 2-2-1 と資料 2-2-2 に基づいて、対象施策実施者により、量子生命技術開発に係る実規模実験環境の整備について説明がなされた。

以上